

# 2026年度事業計画書

法人の名称 特定非営利活動法人 心魂プロジェクト

## 1 事業活動方針

2025年度は、「日本生命協賛こころだま公演」の開始や全国各地での対面公演の拡大に加え、法人拠点施設「心魂研究所」の整備を進めるなど、活動基盤の強化に取り組んだ。

また、難病児・障がい児・きょうだい児による表現活動や社会発信活動が広がり、第56回博報賞受賞など、教育的・社会的実践としても高い評価を受けた。

2026年度は、これまで積み重ねてきた活動をさらに発展させ、「心が動く体験」を届けるだけでなく、子どもたちや次世代メンバー自身が“表現者”“発信者”として育っていく環境整備を重点的に進める。

特に、法人拠点施設「心魂研究所」の本格整備を進め、稽古・育成・作品制作・配信・交流を行う活動拠点として活用していく。これまでに進めた拠点施設の取得及び整備準備を踏まえ、今後は継続的な育成活動や創作活動を安定的に実施できる体制構築を目指す。

難病児・障がい児が「伝えたい」「表現したい」という想いを社会へ発信する実践を継続し、多様な表現手段を活用しながら、“誰も取り残さない表現活動”を推進する。

公演・作品制作においては、新作制作及び既存作品のブラッシュアップを進め、演出・音楽・映像等の強化を図る。オンライン配信、訪問公演、対面公演を組み合わせながら、病室・施設・自宅等からも参加できる環境づくりを継続し、体験格差の解消につながる活動を目指す。

さらに、企業・財団・教育機関・医療福祉関係者等との協働を深め、協賛公演、共同企画、社員ボランティア、発信活動等を通じた持続可能な協働モデルの構築を進める。

加えて、千葉県を中心とした地域連携活動や大型イベント等を本格化し、地域と協力しあえる活動基盤の形成を進める。

運営面においては、助成金・協賛金・寄付金・自主事業・販売事業等のバランスを整え、継続可能な財政基盤の強化に取り組む。法人運営体制や人材配置、安全管理、災害時への備え等についても整備を進め、持続可能かつ透明性の高い法人運営を行っていく。

## 2 2026年度の重点方針

重点取組	内容	目指す成果
心魂研究所の本格整備	稽古場を完成させ、育成・作品制作・配信・交流の拠点として活用する	人材育成と創作活動の安定化
次世代・当事者メンバーの育成	次世代を担う人材・表現者を育てる環境を整備する	新たな表現者・担い手・活動家の育成
公演・作品制作の質の向上	新作制作、既存作品のブラッシュアップ、演出・音楽・映像等を強化する	公演体験価値の向上
企業・財団等との協働強化	協賛、公演、社員ボランティア、共同企画、発信等を進める	持続可能な協働モデルの構築
千葉県内での地域展開	大型イベント、地域連携活動を本格化する	千葉県に根ざした活動基盤の形成
オンライン・ハイブリッド活動の継続発展	病室・自宅・施設から参加できる配信活動を継続する	外出困難な子どもたちへの継続的な体験提供
持続可能な運営基盤の強化	助成・協賛・寄付・自主事業・販売事業のバランスを整える	活動継続のための財政基盤強化

## 3 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

※従事者人員は、1回あたりの実施体制を示す。年間を通じて、出演者、ボランティア等が内容に応じて関わる。

※各事業の支出見込額は、当該事業の直接実施に係る費用の概算を示す。法人全体に係る共通経費、管理費、人件費、減価償却費等については、別途予算計算書に計上する。

#### ① 公演活動事業

##### ア 病院・施設・難病児・障がい児者団体向け公演事業

###### ・内容

病院、福祉施設、難病・障がい児者団体、特別支援学校等に向けて、対面及びオンラインによる公演を実施する。2026年度は、法人拠点施設「心魂研究所」を活用し、新作制作及び既存作品のブラッシュアップを進め、公演作品の質の向上を図る。また、外出や移動が難しい子どもたちや家族にも継続的に活動を届けるため、オンライン配信及びハイブリッド形式の公演を継続する。千葉県内では、地域団体、行政、医療福祉関係者等との連携を深め、地域に根ざした活動を進める。

・日時 通年

・場所 日本全国及びオンライン  
千葉県内の法人拠点施設「心魂研究所」及び  
各地域の病院、福祉施設、特別支援学校、地域会場等

・従事者人員 5～10人

- ・ **受益対象者** 日本全国及び海外の患者、施設利用者、障がい者本人とその家族、きょうだい児、医療福祉関係者等 10,000 人  
オンライン再生回数 300,000 回
- ・ **支出見込額** 10,000,000 円

## イ 一般向け・学校向け公演事業

### ・ 内容

一般の方、一般学校、地域、企業・団体等に向けて、ミュージカル、ライブ、参加型公演、イベント等を実施する。2026 年度は、新作制作及び既存作品のブラッシュアップを進め、より深く心に残る公演づくりを行う。

また、公演を通じて、難病児・障がい児・きょうだい児を取り巻く現状や、多様な人と共に生きること、挑戦すること、表現することの大切さ等を伝える機会づくりを進める。学校等においては、キャリア教育や表現教育等につながる内容も取り入れる。

さらに、千葉県内でのイベント参加等を通じて、地域の子どもたち、医療福祉団体、教育機関、企業、行政、地域住民等が出会い、つながる機会を創出する。企業・財団等との協働による公演や共同企画を進めるとともに、海外の関係機関等との情報交換や接点づくりを行う。

- ・ **日時** 通年
- ・ **場所** 日本全国及びオンライン  
千葉県内の法人拠点施設「心魂研究所」、一般学校、地域会場、企業・団体等
- ・ **従事者人員** 約 5～10 人
- ・ **受益対象者** 一般の方、一般学校関係者、地域住民、企業・団体関係者、医療福祉関係者等 2,000 人
- ・ **支出見込額** 5,000,000 円

## ② ワークショップ事業

### ・ 内容

難病・障がいのある子どもと家族、きょうだい児、一般の方、学校・地域団体等を対象に、音楽・身体表現等を活用したワークショップを実施する。公演出演や創作活動につながる参加型ワークショップを通じて、参加者が「表現すること」「挑戦すること」「他者とつながること」を体験できる機会をつくる。2026 年度は、重症児等も参加しやすい表現方法として、スイッチ等を活用した参加方法の工夫や実践を進め、実地での試行・改善を重ねながら、新たな参加方法の実践につなげていく。

- ・ **日時** 通年及び単発開催
- ・ **場所** 対面及びオンライン  
法人拠点施設「心魂研究所」、学校、病院、施設、地域会場等
- ・ **従事者人員** 4～6 人
- ・ **受益対象者** 病気・障がいのある方とその家族、きょうだい児、一般の方、学校・地域団体等 1,000 人
- ・ **支出見込額** 100,000 円

\*ワークショップ事業は、公演連動型での実施が中心となるため、単独で発生する直接費用は限定的に見込む。

### ③ 講演会事業

#### ・内容

「表現することにより笑顔や生きる力を生み出すこと」「難病児・障がい児・きょうだい児とその家族を取り巻く現状」「支援する・されるを超えて共に生きること」等について、講演会、研修、授業、トークイベント等を実施する。

2026年度は、企業、財団、学校、医療福祉関係者等に向けて、心魂プロジェクトの活動紹介、活動を通して得た学び、心魂キッズ団等の当事者メンバーの挑戦や成長、表現活動を通じて生まれた変化等を伝える機会を広げる。

また、一般学校の児童・生徒・学生に向けては、活動の実践事例等を通じて、表現することや挑戦すること、多様な人と共に生きることについて考える機会をつくる。今後は、心魂独自の表現メソッドについても、講演・研修・授業等の形で発信していく。

・日時 通年

・場所 日本全国及びオンライン  
企業、学校、医療福祉関係機関、地域会場等

・従事者人員 1回あたり約1～5人

・受益対象者 医療従事者、医療福祉関係者、教育関係者、企業関係者、学生、一般の方等1,000人

・支出見込額 200,000円

### ④ 作品制作及び販売事業

#### ・内容

公演の思い出や感動を日常へ持ち帰ることができるオリジナルグッズの企画・制作・販売に力を入れる。グッズ販売を単なる物販ではなく、活動への参加、応援、記憶の共有につながる取り組みとして位置づけ、活動継続につながる販売事業として整備を進める。オンライン販売や公演会場での販売方法についても検討する。

・日時 通年

・場所 日本全国及びオンライン  
法人拠点施設「心魂研究所」、公演会場、オンラインショップ等

・従事者人員 約10人

・受益対象者 病気・障がいのある方とその家族、きょうだい児、一般の方、支援者等500人

・支出見込額 800,000円

### ⑤ 教育プログラム事業

#### ・内容

講座、学校、法人拠点施設等において、表現活動を通じた教育プログラムを展開する。

2026年度は、法人拠点施設「心魂研究所」の稽古場整備を進め、次世代の担い手となる人材を育成するための育成プログラムの整備・実施を進める。

心魂プロジェクトの理念に強く共感し、本気で活動に向き合う意思のある若者に対して、音楽、演劇、ダンス、身体表現、発声、コミュニケーション、NPO法人運営、現場実習等を組み合わせた継

継続的なレッスンをを行い、表現技術と実践力の双方を育む。

また、社会人パフォーマー、育成メンバー等に向けた研修・講座も実施し、心魂プロジェクトの理念と活動を共に担う人材育成を進める。

- ・ **日時** 通年
- ・ **場所** 法人拠点施設「心魂研究所」、日本全国及びオンライン  
学校、企業、地域会場等
- ・ **従事者人員** 約4人
- ・ **受益対象者** 社会人パフォーマー、育成メンバー、心魂キッズ団、Youth心魂、医療関係者  
企業関係者、学校関係者等100人
- ・ **支出見込額** 2,000,000円